別紙様式５号（別記１のＩの第３の３及び４並びに別記２のＩの第２の３及び４関係）

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

１　産地基幹施設等支援タイプ

（都道府県名：鳥取県令和４年度）

市町村名	事業実施主体名	メニュー①（対象作物・畜種等名）①	類別	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況① 計画時（H30年）	1年後（R2年）	2年後（R3年）	3年後（R4年）	目標値（R4年）	達成率	成果目標の具体的な実績①	メニュー②（対象作物・畜種等名）②	類別	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況② 計画時（H30年）	1年後（R2年）	2年後（R3年）	3年後（R4年）	目標値（R4年）	達成率	成果目標の具体的な実績②	事業内容（工種、施設区分、構造、規格、能力等）	事業費（円）	負担区分（円） 交付金	都道府県費	市町村費	その他	完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
大山町	全国農業協同組合連合会鳥取県本部	野菜（ブロッコリー）	129	集出荷貯蔵施設の導入による品質向上により、良品出荷規格を33.3%削減	出荷規格数18規格	出荷規格数11規格	出荷規格数11規格	出荷規格数11規格	出荷規格数12規格	116.7%	出荷規格数が38.9%減少した。	野菜（ブロッコリー）	136	単位収量当たりの販売額を9.9%増加	単位収量当たり販売額331円/kg（販売額371,382千円/生産量1,122t）	－	単位収量当たり販売額324円/kg（販売額510,273千円/生産量1,577t）	補正後の単位収量当たり販売額345円/kg（販売額627,964千円/生産量1,823t） 補正前の単位収量当たり販売額327円/kg（販売額596,357千円/生産量1,823t）	単位収量当たり販売額364円/kg（販売額592,956千円/生産量1,629t）	40.6%	単位収量当たりの販売額が4.1%増加した。	野菜集出荷貯蔵施設整備（ブロッコリー） 集出荷施設（1棟、1,584㎡） 調製施設 冷蔵室（2蔵、300㎡） 自動製氷機 一式 その他附帯設備 一式	367,472,288	167,032,858	0	0	200,439,430	R3.3.25	①野菜集出荷貯蔵施設を導入したことで出荷規格数は11規格に削減され、目標達成した。 ②単位収量当たりの販売額は、天候不順等でブロッコリーの生育が前後し、当初見込み通りの集荷及び販売が出来ない時期があったこと、単価が高い時期に当施設以外への出荷量が多くなり、当施設への出荷量が計画を下回ったことから 、全農としての単価が下がり、目標未達成となった。 今後は、買取基準単価を期中に変更できる仕組みを取り入れて集荷対策を行い、単位収量当たりの販売額の目標達成を図る。	県内初となるブロッコリーの広域共同選果施設であり、品質保持により目標値以上に少ない規格数を設定できたことで生産者等の負担軽減にもつながり、県ブロッコリーの産地発展に寄与している。 一方、販売額は年間通じた計画通りの集荷及び販売が行えなかったために目標未達成であった。 今後は栽培基準の見直しや、生産者に出荷計画を遵守してもらう等の対応策により計画通りの集荷及び販売を実現し、目標販売額を達成するよう、働きかけを続けていく。	

都道府県平均達成率	70.3%	総合所見	県平均達成率は70.3%と未達成となった。 未達成となった主な要因は、天候不順により計画通りの集荷及び販売ができなかったことであることから、今後は栽培基準の見直しや生産者の出荷計画の遵守等、目標達成に向け指導を行う。

（注）１　別紙様式１号の１の（２）のＩに準じて作成すること。

２　要綱別記１のＩの第２の２の（２）のただし書きの場合にあっては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。

３　別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。

４「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。

５「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。

６「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。